

令和5年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年(2024年)3月15日
市立札幌清田高等学校

1 教育方針(グラデュエーション・ポリシー)

- 1 自分の意思で計画を立て、積極的に行動し、未来を切り拓く力を身に付けさせる。(実行力)
- 2 地域や世界に視野を広げ、幅広い見方ができ、社会に貢献する力を身に付けさせる。(分析力)
- 3 多様性を理解し、他者の存在を認め、ともに活動できる力を身に付けさせる。(協働力)
- 4 思考力を深め、自ら問いを立て、調査・研究の成果を発信する力を身に付けさせる。(探究力)

2 本年度の重点目標

〈資質保障〉

- 1 生命を守る指導及び規範意識を育む生徒指導の推進
- 2 自己肯定感・自己有用感を高める活動の推進

〈学力保障〉

- 3 生涯にわたって学び続ける力の育成

〈進路保障〉

- 4 適正な進路指導の推進

3 本年度の経営方針(組織運営目標)

〈資質保障〉

- 1 信頼される学校づくり(情報発信、地域連携、社会に開かれた学校、学校評価アンケート)

〈学力保障・進路保障・改革推進〉

- 2 学校経営参画意識の高揚(単位制教育課程推進、国際理解教育推進、組織体制づくり)

〈資質保障・学力保障・進路保障・改革推進〉

- 3 教職員の資質向上(研修機会の確保、成果の還元、ICT活用推進)

- 4 働き方改革の推進(業務スクラップ&ビルト、校内組織の見直し、協働体制、ICT利用促進)

4 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

〈資質保障・学力保障・進路保障・改革推進〉

- 1 生徒が主体的、意欲的に学べる教育環境の整備と充実に努める。(課題探究的な学習)
- 2 多様な個々の進路実現に寄与する教育活動の設定と支援に努める。(単位制、学校設定科目、学校間連携)
- 3 自立した札幌人の育成に向けた国際的視野の醸成と実践(グローバルコースの実践と全校的な取組への涵養)

(様式2)

5 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
		項目	分野			
資質保障	○学校は安全な場所として認知されているか	A	B	○学校がいじめ等の不安がない安心できる場所として認知されている。	A	A
	○心配や悩みがあるときの相談窓口は周知されているか	C		○悩み等に対する相談体制が校内にできているが、保護者への周知が不十分であることから、「保健だより」や保護者連絡システム「すぐーる」等を活用して、年度当初に周知する。		
	○規範意識をもって学校生活を送ることができているか	A		○決まりごとに対する意識が高く、生徒たちの規範意識は高い。		
	○部・局・同好会に積極的に参加しているか	A		○生徒たちは積極的に参加している。		
	○学校行事において充実感・達成感を得ているか	A		○活発に活動できており、生徒たちは充実感・達成感を得ている。		
	○学校生活においてコミュニケーションはできているか	A		○生徒はいろいろな場面で他者と協働している。		
	○学校から重要な情報がしっかりと発信されているか	B		○保護者へしっかりと情報が伝わるように、年次通信、「すぐーる」及び学校HP等で情報を発信していく。		
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後、献身的な高校からのサポートを通じて、新しい取り組みやこれまでの活動への検証を丁寧に行ってきたと感じられた。(国田様) ・相談体制について、「保健だより」「すぐーる」を活用して年度当初だけではなく、各学期のはじめなどにも周知徹底するようにしたらどうか。(今野様) ・保護者への周知は、年度当初以外でも周知できる機会がありましたら、お願いをしたいと思います。(白石様) ・関連するアンケートの多くの項目で、肯定的な意見が非常に多いことを高く評価します。一方で、保護者への質問2について、半分以上の保護者の方が知らないとなっていることについては、早急に対応をお願いします。(坂本様) <p>➡「保健室だより」「相談室だより」などで周知機会を増やしていきます。</p>					

(様式2)

分野	評価項目	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
		項目	分野			
学力保障	○授業はわかりやすく工夫されているか	B	B	○より理解しやすい工夫に努めていく。	A A A A	A B A A
	○学ぶ意欲を育む授業が行われているか	B		○単位制カリキュラムの充実に努めていく。		
	○課題探究的な活動が取り入られているか	A		○総合的な探究の時間に対する生徒の期待が高いことがわかる。		
	○生徒の知的好奇心を高める授業が実践されているか	B		○生徒の知的好奇心をくすぐる工夫を仕掛けていく。		
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・課題探究型の授業に対する生徒からの満足度が高いことが感じられた。(国田様) ・「改善の方策」に書かれていることは、紙面の都合があるため、このような書き方になっているのだと思いますが、「具体性」が欠落しており、改善の方策とは言えないのではないか。今後、教職員で具体的に検討して欲しい。(今野様) ➡「効果的なICT活用」など具体的な方策を検討していきます。 ・研修の機会がありましたら、積極的な参加をお願いします。(白石様) ・関連するアンケートの全ての項目で、肯定的な意見が多いことを高く評価します。一方で、教職員への質問8について、昨年度より減ったとはいえ2割弱が「そう思わない」と答えており、まずは学校内での協議・方向性の確認・意思統一が必要と考えます。(坂本様) 					

分野	評価項目	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
		項目	分野			
進路保障	○進路相談や講演会などの支援は十分に行われているか	B	A	○生徒に対しての進路支援は充実している。2月26日(月)に1・2年次保護者を対象とした進路講演会を実施した。次年度以降も、保護者への進路支援が充実するよう努めていく。	A A A A	A A A A
	○進路実現に向けての講習や模擬試験は十分に行われたか	A		○進路対策のための講習や模擬試験は十分に行われている。		

(様式2)

学校関係者 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・進路支援や模擬試験等が充実していることが感じられた。(国田様) ・項目の達成状況が「B」になっている理由は何か。(今野様) ・保護者への理解、情報の機会の発信に努めていただけたらと思います。(白石様) ・関連するアンケートの全ての項目で、肯定的な意見が多いことを高く評価します。一方で、質問 11 の保護者は否定的な意見も一定数あることから、提案されている改善策等の確実な実施をお願いします。(坂本様)
------------------------	---

分野	評価項目	自己評価			学校関係者 評価	
		達成状況		改善の方策	自己 評価 の適 切さ	改善 策の 適切 さ
		項目	分野			
改革 推進	○国際理解教育への取組は 認知されているか	A	A	○国際理解教育への生徒の関心や意欲 は高い。	A A A A	A A A A
	○国際理解教育は「生きる 力」となるか	A		○国際理解教育への「生きる力」にな ると評価されている。		
	○国際理解教育は推進され ているか	B		○普通コースへの波及など評価される 一方、保護者や学校外への国際理解 教育の周知が課題であることから、 清田グローバルタイムス、「すぐー る」及び学校HP等で随時、情報を 発信していく。		
学校関係者 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育への生徒の関心や意欲が高いことが十分感じられた。(国田様) ・国際理解教育は極めて重要な問題なので、これまで以上に積極的に進めてほしい。これまで以上に普通コースへの波及が進む仕掛けがあると良いのではないかと。(今野様) ・国際理解教育を全校(授業、行事他)で一層の充実に取り組んでいただき、保護者、地域、中学校等に発信していただけたらと思います。(白石様) ・関連するアンケートの全ての項目で、肯定的な意見が多いことを高く評価します。一方で、質問 13 の教職員は「取り入れていない」も一定数あり、清田高校の特色である国際理解教育について、改めて職員の中で意思確認すべきと考えます。(坂本様) 					

* 評価は A (良い)、B (普通)、C (悪い) の3段階で表示しています。

* 学校関係者評価欄における「自己評価の適切さ」及び「改善策の適切さ」の評価欄は

国田 賢治 様 (札幌国際大学スポーツ人間学部 教授)

今野 喜文 様 (北海学園大学経営学部 教授)

坂本 哲史 様 (北野まちづくりセンター 所長)

白石 淳 様 (北海道医療大学看護福祉学部 教授)

以上、4名の市立札幌清田高等学校の学校評議員における評価をこの順に表示しています。